

**4. ギリシア・ヘレニズム世界**

/ 11問

次の文章A～Bを読み、下の問い合わせ(問1～11)に答えよ。

A ①古代ギリシアにおける教育の歴史は、都市の歴史と深いかかわりを持っている。前5世紀ごろから②民主政が発達したアテネでは、③ソフィストと呼ばれる人々が、都市の政治を担う④市民の教育に大きな影響を与えた。彼らは道徳の主観性を説く傾向が強かった。他方で、市民に普遍的な真理や道徳とともに生きることを説く哲学者たちも盛んに活動した。その後、⑤マケドニアの強大化によってギリシア諸都市の政治的自立性が失われていくと、都市国家の市民というよりむしろ世界市民としての行動規範や、個人の心の平安を説こうとする者たちの活動が顕著となつた。これらの思想の一部は、都市国家から世界帝国へと発展したローマの社会に摂取され、ストア哲学として普及していった。(05・セ本)

**問1** 下線部①に関連して、クレタ島において、前2千年紀前半ごろに栄えた古代文明について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。(04・セ本・改) **1**

- ① エヴァンズにより、この文明の遺跡が発掘された。
- ② 鉄器文明であった。
- ③ ミケーネ文明を滅ぼして成立した。
- ④ この文明では、文字が用いられなかった。

**問2** 下線部②に関連して、次の年表に示したa～dの時期のうち、クレイステネスが旧来の部族制を改革し、民主政の基礎を築いた時期として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **2**

- ① a
- ② b
- ③ c
- ④ d

前594年	ソロンの改革
	<b>a</b> <input type="text"/>
前561年	ペイシストラトスの僭主政治
	<b>b</b> <input type="text"/>
前500年	ペルシア戦争勃発
	<b>c</b> <input type="text"/>
前443年	ペリクレス時代の始まり
	<b>d</b> <input type="text"/>

**問3** 下線部③に関連して、ソフィストについて述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。(04・セ本・改) **3**

- ① ソクラテスは、「万物の尺度は人間」と主張して、客観的真理の存在を否定した。
- ② 万物の根源を探求することを主な活動としていた。
- ③ 弁論術を市民たちに教えていた。
- ④ 教父として正統教義の確立につとめた。

**問4** 下線部④に関連して、市民の間では演劇が広く愛好されていたが、古代ギリシアで活躍した「三大悲劇詩人(作家)」の名として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。(12・セ追) **4**

- ① アイスキュロス
- ② アリストファネス
- ③ エウリピデス
- ④ ソフォクレス

問5 下線部⑤に関連して、この頃に起こった戦いについて述べた次の文ア・イとその後の展開について説明した文a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 5

### この頃に起こった戦い

- ア サラミスの海戦  
イ カイロネイアの戦い

### その後の展開の説明

- a コリントス同盟が成立した。  
b この戦いで活躍した無産市民の発言力が増した。  
c ベロポネソス同盟がデロス同盟に勝利した。  
d この戦い後、テーベが一時主導権を握った。

- |       |       |
|-------|-------|
| ① ア—a | ② ア—b |
| ③ ア—c | ④ ア—d |
| ⑤ イ—a | ⑥ イ—b |
| ⑦ イ—c | ⑧ イ—d |

B ①ギリシア人は、各地で②都市国家を形成するとともに、植民活動も広範に展開していった。すでにフェニキア人が、地中海沿岸にカルタゴなどの植民市を建設し、大規模な交易活動を展開していたため、時としてそれら植民市とギリシア人の関係が緊張することもあった。しかし、③ギリシア人もまた多くの植民市を建設し、自らの交易活動も活発化させていくことになる。これに伴って、常設の市場があった④都市内部の広場では、物資の交換のみならず、⑤情報や意見のやり取りも盛んに行われるようになり、やがてそのような空間から政治史の新たな扉が開かれていった。(06・セ本・改)

問6 下線部①に関連して、次の文章の空欄【あ】の人物とその内容【い】に入れる語句の組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 6

エジプトのアレクサンドリアに建設されたムセイオンでは、様々な自然科学の研究が行われた。【あ】はムセイオンで活躍したギリシア人の1人であり、【い】など後の世界に影響を与える研究を行った人物として知られる。

### 【あ】の人物

- ア エラトステネス イ エウクレイデス

### 【い】に入る内容

- a 平面幾何学を大成する  
b 浮力の原理・てこの原理を発見する  
c 太陽中心説(地動説)を主張する

- |       |       |
|-------|-------|
| ① ア—a | ② ア—b |
| ③ ア—c | ④ イ—a |
| ⑤ イ—b | ⑥ イ—c |

問7 同じく下線部①に関連して、ギリシアの地域について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。(09・セA本・改) 7

- ① 前8世紀には、ギリシア各地にポリスが形成されるようになった。  
② 前5世紀に、ギリシアの諸ポリスはアケメネス朝ペルシアと戦った。  
③ 前4世紀に、マケドニアはギリシアの諸ポリスを支配した。  
④ 1世紀に、ギリシアはローマによって征服された。

問8 下線部②に関連して、スバルタを盟主として結ばれた同盟の名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。(07・セ本・改) 8

- ① デロス同盟
- ② ペロポネソス同盟
- ③ コリントス(コリント)同盟
- ④ ロンバルディア同盟

問9 下線部③に関連して、ギリシア人が建設した植民市の名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。(04・セ本・改) 9

- ① ウィンドボナ(ヴィンドボナ)
- ② ネアポリス
- ③ ルテティア
- ④ ロンディニウム

問10 下線部④に関連して、アテネの広場について述べた次の文章a～cが、時代の古いものから順に正しく配列されているものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。10

- a セレウコス朝シリアと対立していたペルガモンの王アッタロス2世が、アテネの広場に柱廊を建設した。
- b ソロンは広場で市民を鼓舞するために詩を朗唱し、アテネはサラミス島を獲得するため積極的に戦うようになった。この後ソロンは改革事業の指導者に選ばれることになる。
- c ペイシストラトスは自ら身体を傷つけて広場に現れ、政敵に襲われたと訴えた。このため護衛兵をつけることが認められたが、彼はこの護衛兵を利用して僭主政治を打ち立てることになる。

- ① a→b→c
- ② a→c→b
- ③ b→a→c
- ④ b→c→a
- ⑤ c→a→b
- ⑥ c→b→a

問11 下線部⑤に関連して、古代ギリシアの学問や文化について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。(11・セ追・改) 11

- ① プラトンは、イデア論を説いた。
- ② アリストテレスは、『神統記』を著した。
- ③ ゼノンは、エピクロス派を創始した。
- ④ タキトゥスは、『ゲルマニア』を著した。